

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
第4回在宅医療介護推進部会 会議録

開催日時	平成29年2月13日（月）午後2時から午後3時
開催場所	生駒メディカルセンター 3階研修室
出席者 （委員）	有山委員長、倉本委員、吹留委員、井上委員、吉藤委員、加藤委員、田中委員、崎司委員、中溝委員、世古委員、辻村委員、（橋本委員代理）郡山保健所今西課長
欠席者	山口委員、片岡委員、高山委員、林委員、工藤委員
事務局	影林福祉健康部長、増田福祉健康部次長、石田病院事業推進課長、近藤健康課長、森田健康課課長補佐、吉村健康課課長補佐、伊藤病院事業推進係長
生駒市医師会	土橋事務局次長
傍聴	2名
案件	(1) 生駒市在宅医療介護連携の方針（案）について (2) 資源収集のとりまとめについて (3) 平成29年度の予定について (4) その他
資料	資料1 生駒市在宅医療介護連携の方針（案） 資料2 平成29年度在宅医療介護推進部会の予定について 別紙1 入退院調整マニュアル作成スケジュール（案）
議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
部会長	1 開会 ・配布資料確認 2 案件 (1) 生駒市在宅医療介護連携の方針（案）について 皆さんこんにちは、今日もよろしくお願ひいたします。今日は28年度最後の部会となります。この1年間のやってきたことを集約するということで、本日も円滑な議事進行にご協力のほどよろしくお願ひいたします。それでは案件（1）につきまして、生駒市在宅医療介護連携の方針（案）について、まずは事務局の方から説明お願ひします。
事務局	・事務局から資料1に基づいて説明
部会長	ありがとうございました。今年度3回に亘って活発なご討議をいただきまして、その成果が今、方針案としてまとめられたわけですね。いろいろと討議の中で現在の生駒市の中でいくつか在宅での医療介護連携において課題が出てきました。1つは情報共有、1つは相談、1つは連携体制の問題、1つは研修人材育成の問題、5つ

部会長	<p>目に普及啓発活動といった大きくまとめると5つの課題がでてきたというところ です。それぞれにつきましてさらに、いろいろご討議いただきまして、その5つの テーマについての方針、それとより具体的な案、取組案としての皆様のご意見をた くさんいただいてそれが資料の5番目の具体的な取組というところでまとめていた だきました。その中でも優先順位の高いものから次年度にむけて取り組んでいこう というところでまとまったと思うのですけれども、この方針案につきまして皆様か ら何かご意見等ございますでしょうか。</p> <p>修正等はないでしょうか。</p> <p>(質疑・応答)</p>
委員	<p>医療介護連携のイメージ図の案の部分ですけれども、これは在宅医療推進部会と 認知症対策部会が連携していくものだと、私は認識しています。これは生駒市医療 介護連携ネットワーク協議会の在宅医療推進部会のまとめということで1つしか 出てないのですけれども、2本の柱をもう少し入れてもらいたいと思います。これ では2本の柱が別々の物のような気がします。お互いがここを共有するというよう にわかりやすくしてもらいたいです。</p> <p>構成団体のネットワークが大きくあって、連携推進の取組みというのがありま す。ケアマネージャーと介護支援専門員は同一職種ですし、ここに保健師、社会福 祉士とあるのですけれども、昨今の医療関係ですと、PT、OT、STや管理栄養士も普 通はサービス担当者会議に必要なってきます。この点も検討したほうがよいのか なと思います。</p>
部会長	<p>イメージ図について、今ご意見いただきましたけれども、この件に関して他にご ごいませんか。</p> <p>医療介護連携ネットワーク協議会の下に、私達が考える在宅医療介護推進部会と 認知症の部会というのがあります。それもこのイメージ図の中に入れておいた方が よいのではないかというご意見でした。それからもう1つは連携推進のための取組 みと、職種としてPT、OT、STも含めた方がよいということでした。確かにそう思 いますので、後で付け加えさせてもらいます。それでよろしいでしょうか。</p> <p>(イメージ図の)修正に関して再度皆さんに集まってもらうのも大変だと思うの で、私の方に一任していただいてよろしいでしょうか。考え直して修正していきま す。</p> <p>それ以外の部分につきまして、今年度の方針、取組み、まとめについて特にご意 見ないでしょうか。</p> <p>無いようですのでイメージ図の部分で、少し修正を加えるということによろしい でしょうか。</p> <p>では反対意見もございませんので、この案で進めさせてもらいたいと思います。</p> <p>それでは事務局から案件2について説明していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>(2) 資源収集のとりまとめについて</p> <p>(事務局から説明)</p> <p>説明の概要</p> <p>平成28年12月8日に資源集調査票を各事業所に発送 (医科 18件、歯科 61件、薬局 49件、介護事業所 130件) 合計 258件</p> <p>回収件数 (平成29年2月7日現在) (医科 15件、歯科 56件、薬局 45件、介護事業所 123件) 合計 239件</p>

	<p>未回収件数及び事業廃止等 (医科 3件、歯科 5件、薬局 4件、介護事業所 7件) 合計 19件</p> <p>回収率 92.6%</p> <p>※資源集掲載希望 (一部内容掲載不可を含む) 205件 資源集掲載希望しない 34件</p> <p>なお、資源収集のとりまとめと資源集の作成に関しましてお聞きしています生駒市医師会の今後のスケジュールでございますが、収集しました資源集データを、3月末までの年度内に取りまとめをされます。そして資源集として冊子化されるのは、平成29年5～6月頃になります。</p> <p>報告は以上でございますが、資源集調査票の中の、④訪問看護の分で提出された調査票の中でご指摘がございまして、お手元の資料にございますように加算の届出・対応欄の項目で、重症管理加算が重症者管理加算に変更後さらに平成24年診療報酬改定後に特別管理加算に変更、特別管理看護加算が特別管理加算に変更、緊急訪問看護加算が緊急時訪問看護加算に変更という、それぞれ変更になっているのではとのご指摘がございまして、事務局としまして当推進部会の訪問看護事業所の委員の方に確認しましたところ、変更になっているとの確認をとっておりますので、部会において項目標記の変更の承認をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>資源集についての報告がありました。その中でまず、訪問看護の調査項目について変更の説明がありました。この部分について、変更させていただきます。 今後の予定としまして、先ほども説明がありましたように、5月6月頃に資源集の冊子を皆様へ配布できるようにとり進めて参りたいと思っております。 資源集の進捗状況と今後の予定については、特にご意見ございませんでしょうか。また前にもありましたように、資源集の範囲を生駒市内から市外へ広げるということを将来的には考えております。 ではそのように進めていってよろしいでしょうか。</p> <p>続きまして案件(3)の平成29年度在宅医療推進部会の予定について、事務局から説明をお願いします。</p>
部会長	<p>・事務局から資料2に基づいて説明</p>
事務局	
部会長	<p>平成29年度の実施についてご説明がありました。皆さんから出していただきました具体的な取組みで優先度の高い部分は、来年度の項目として5つを部会で積極的に取り組んでいきたいというところです。 1番の入退院調整マニュアル作りというのは非常に重要な課題ですので、ワーキンググループを設置して取組みを進めていくというところです。私の感想として1年間で完成できるかどうか、難しいところだと思います。もっと会議等たくさんしないと、十分なマニュアルができないのかもしれないという印象はあります。しかし平成30年度の運用にむけて、取組みを進めていくという説明でございます。 資源集のデータベース化についても、今回集めましたデータをどのようにデータベース化して将来的にどのように管理・運用していくかが重要です。お金もかかることですので、管理体制の問題等もありますので、この部分についても充分話し合いが必要ではないかと思っております。</p>

	<p>3番の相談支援窓口も在宅医療介護に関わる、各事業所の連携に関する相談を中心的に受けてくれる窓口というのは必要です。前回、高島市の視察に行きました時もそういう相談窓口を設置しておられました。そういうところは生駒市にも必要だと思います。その（相談窓口の）設置においても、皆さんのご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>4番、研修の実施体制、内容等について。また、5番の市民啓発についてもいろいろご意見を頂戴しながら進めていきたいというところでございます。</p> <p>来年度の予定について、皆さんからご質問ご意見等ございませんでしょうか。来年度の我々の活動の内容の中心となりますので、もっとこの部分についても協議したほうがいいのかといったご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>今日は皆さんからのご意見があまりないので、マイクを順番に回してご意見を一言ずつでもあれば何うということにしましょうか。</p> <p>ご意見がなければ、今年の感想等でも結構です。</p>
委員	<p>初めてこの会議に出させていただいて、他の職種の方の考えなどがわかりましたので、また勉強させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>率直に申し上げますと、認知症の連携が不足している、あるいは勉強不足だというふうに書いてある課題に対して、連携を強化しましょうといったことだけではなく、もう少し具体的に、あえて言えば、介護している立場からいうと、医療サイドの介護保険制度だとかそういったところについての研修はスピードアップを進めていってほしいという印象です。</p>
委員	<p>多職種の方といろいろお話できたので、その多職種の悩みというのがわかってよかったなと思います。薬剤師会では、在宅医療については薬局によって温度差があるのが実情です。これを機会にもっともったこの会議を通して、地区に（医療介護連携を）もって行って浸透して行って、生駒市ではドクターと話ができる部会があるので、いい意味で医療と介護のちょうど間くらいにあるのかなと思ってますのでもうちょっとがんばっていければと思います。</p>
委員	<p>来年度の部会の予定ですが、入退院調整マニュアルに関しては予定がきっちりあるがその他の内容については具体的にどうなっているのかと思います。その時点その時点でも結構ですし、また教えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>病院を退院されるときの、患者の利用シートについて、各病院ごとで書式が異なっているのではないかと現状を感じています。ですからざっとでもいいので、各病院がどういう書式で退院時の記録をし、患者様のデータベースをとっているかを、現場でも仕入れて共有できればと思います。生駒市として、様式の統一が進むのではないかと意見が1つあります。</p> <p>もう1つ、資源集が出来上がってから先だと思っておりますけれども、医療と介護の間にいわゆる自立支援の介護予防もあります。その地域ごとに行われているサロンや教室の情報も地域包括では持ってらっしゃいます。いわゆる介護にならなかった自立者の場合の、在宅での過ごし方の部分の情報の共有というのも、一緒に考え直せるような資源集にできれば幅広くなるのではないかと感じております。</p>
委員	<p>資源集につきましては、データベース化されて、もちろん開示目的ですので、広く一般にも見ていただくということでした。しかし入退院調整マニュアルなど、今後これからわかりよいものになるかと。高島市では専用のソフトのようなもので共有されていたり、一定条件として推進室というか、そこの方がかなり網羅されていたという前提条件があります。それをそのまま生駒市にもってこられるかというところがあります。けれども入退院のことですので、病院のドクター等、かかりつけ医の先生のことであったり、入退院の調整であったり、そこにケアマネージャーが当然関わって、事前に自宅も準備しないとイケません。情報を共有するというのは、</p>

委員	<p>実際には開示目的ではないので、ペーパーの状態でどうやりとりするのかなかなか難しいのかなと思っています。ファックスのやりとりをしていいのかも難しいと思います。そこもうまい方法で考えていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>この会議の感想としましては、医療と介護グループワークなど活発な意見がありました。介護側としてはちょっと敷居が高いかなというイメージもあったのですが、医療側も介護との連携がとれてなかったり、お互いに意見のくい違いもあったようですが、今回の会議の中で連携ができていないところもあるので、今後もっと活発な意見を出し合って医療と介護の境をなくすような方向でいけたらと思います。</p> <p>資源集の冊子化ですが、今、介護に関してつぶれていってる事業所もけっこうあります。新たにできたところ、なくなっていく事業所を資源集として冊子で出すのか、インターネットで流すのかということも今後考えていかないといけません。あとは相談窓口について、医療と介護を1つの窓口で対応できればいいことですが、最近のこの状況の中で精神疾患というのもけっこう増えています。医療と介護だけではなく、精神にも精通した相談窓口になったら、市民の方も安心するのではないかと思います。</p>
委員	<p>今回、医療介護連携ネットワークの方にも参加させていただきまして、多職種の方と意見交換できてすごく勉強になりました。このグループワークをいかして今後、生駒の医療介護ネットワークがより活発的に連携していけるかと思います。ありがとうございました。</p>
委員	<p>医療側として考えて、ここまで医療と介護はバラバラだと思っていませんでした。もっとスムーズに運用されているかと思っていましたが、こういった会議に参加させていただいて、そうではなかったのだと痛感させていただきました。今後それが一本化できるような形でテーマに取り組んで、私も参加してがんばらせていただきたいと思っています。</p> <p>あと1つ、入退院調整マニュアル作成のスケジュールについて、メンバー構成など、どういった体制でしていられるのですか。ケアマネにしても、生駒市でもかなりの事業所がありますが、どう考えておられるのかというのがわからないので、わかり次第お願いします。</p>
委員	<p>組織として方針が出されましたが、個々の認識には温度差がかなり大きいのかなと思います。今後、ケースを通して連携が進むことを期待しています。また、実際に連携が進むということで、ツールが使えるだとか資源集はタイムリーになるだとか。他の処遇困難としてあがってくるのが、単身者、高齢者世帯、認知症の高齢者の方々がおそらく課題としてあがってくるのではないかと思います。その辺、具体的に組織としての連携が進むとともに、個々としての連携も進むことを今後考えていけたらなと思っています。よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>いろいろとお話させていただいて、具体的な取組みということで方針が示されて、本当にたくさんの方の事をやっていかなきゃいけないということで、がんばっていかなくてはという思いと、せっかくそれぞれ団体から代表で、皆さん出てきておられるので、団体ごとになんかこういった取組みが進められていることを周知していただきたいと思いました。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。また、いろいろなご意見いただきありがとうございます。</p> <p>1つの成果として、我々ここにいる者だけでも顔が見える関係が築けたことが1つの成果であると思いますし、我々の持っているいろいろな情報がまだまだ不足しているということと、連携が充分いってないという現状を我々の中でも共通して把握できたことが1つの成果であったかなと。それをふまえて、来年度にむけてより</p>

事務局	<p>よい改善が出来るように我々も取り組んでいかないといけないというところで、皆さんまた心一つにしてがんばっていきたいと思っております。</p> <p>来年度の予定につきまして、今ご意見お伺いした5つのところ以外ではあまりなかったようなので、大事なこの5つを進めていくところなのではないかと思えます。1番以外の2番から5番について、具体的なところがわからないといった意見があったのですが、事務局の方で今のところ何かありますか。</p> <p>事務局の方から補足の説明をさせていただきます。</p> <p>まず行政側として、平成29年度にむけて予算要求しておりますのが、1点目の入退院支援マニュアルの作成にかかる予算と2点目はデータベース化です。これはどちらかというと、皆さんの取組みを支援する形です。支援するためにはどういう予算が必要かということです。当然この場もそうですけれども、マニュアル化するのもデータベース化するのも、それを運用していただく中でよりよいものに改善していくものと考えております。そういった意味でいきますと、3点目4点目5点目につきましては、部会運営以外に具体的に市が予算を使っていくということがございませぬけれども、私どもで皆さんの議論が集約できるような形でいろいろな題材をご用意させていただくので、それをどういう形でやっていけば皆さん使いやすいか、ひいては市民のためになるかということでご意見を集約していただければと思います。仮に3点目でいきますと、相談窓口をどこに設置すればいいかや、行政はどういった形で支援できるのかといったことも施策として具体化し、支援していきたいと考えております。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。入退院調整マニュアルの作成については、スケジュールを具体的にご提案いただきまして、さらにまた詳細な予定が決まりましたらお知らせくださいというご意見がありました。また具体的なことが決まり次第、皆さんへのご連絡を事務局からお願いいたします。</p> <p>2番目の在宅医療介護資源集のデータベース化について、私の意見としては、廃業されていく事業所等もありますし、この情報のタイムリーな更新をどこが責任をもって誰がやるのかといったところが難しいと思います。データベース化していくにあたっては、それ相応の予算ということになってきますし、情報の漏れのないようにということ、いろいろ課題というのがたくさんあると思います。誰がどのようにやっていくかということも含めまして、この部会でまた具体的なご意見をちょうだいできればということもありますし、私がお金を出して私がやりましょうという事業者があればいいんですけどもなかなか難しいようです。そういったところも含めまして来年度皆さんにご相談できればというふうに思います。</p> <p>3番の相談支援窓口の設置についてですが、これは医療と介護に関わる事業者が連携する上で、困ったことを相談する窓口ということです。ですので一般市民からの相談の窓口ではなくて、事業所からの相談を受ける窓口と考えています。それも生駒市内にある皆さんの事業所の方が担当していただくとか、また新たに窓口を設置するとか、既存の事業所を活用してというところも1つかなと思います。このあたりをまた皆さんと相談して決めていきたいと思えます。これもどなたかが手をあげてくださればいいのですけれども、そのへんも含めて具体的にご相談できればと思います。</p> <p>4番5番、研修市民啓発について、今年度いくつか取り組みました。私の所属している医師会の方でも、多職種連携の研修会、それから市役所の方でも市民向けの研修というのも今年度やっておりましたので、引き続き来年度も続けていくことも大事ななと思えます。ですからどういった内容の研修にしたいかや、どういった内容の市民の啓発をどういった内容であるかとか、いろいろなツールを作るとか、そういうことも含めて、来年度も引き続きもう少し具体的にできればいいかなと思っております。</p> <p>あとは情報共有のツールもICTも利用して使えば1番いいのですが、それもなかなかいろいろな予算なりの問題があります。ですから入退院調整マニュアルを作っていく中で、情報シートの統一というのもできるのかなと考えております。こうい</p>

	<p>ったところも含めて、入退院調整マニュアル作りに、重きをおいていったらいいのかなと私は思っております。</p> <p>他に特にご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>それではご意見ご質問等ないようですので、今年度4回に亘っての部会の開催を通じて、委員の皆様にはご意見ご協議いただきまして、生駒市在宅医療介護連携の方針というのがまとまりました。また、来年度にむけての具体的な取組みの案というのも決まりました。皆さん活発にご協議いただきまして本当にありがとうございました。</p> <p>今年度の成果を次のステップにむけて、次年度も引き続き皆様のご協力を得ながら、進めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>最後に案件4、その他についてですが他にございますでしょうか。</p>
事務局	<p>本日、協議いただいた今年度の成果と来年度の予定につきましては、年度明けに開催を予定しております医療介護連携ネットワーク協議会において報告いたしまして、次年度の取組みにつなげていきたいと思っております。</p> <p>なお、平成29年度の部会の開催につきましてのスケジュールは、まだ決定していませんので決定次第、皆様にはご連絡いたしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>最後に認知症対策部会から多職種連携の研修としまして、来週日曜日2月19日市役所におきまして10時から12時でございます。認知症に関する医療と介護の多職種連携研修として、九州保健福祉大学の小川教授の講演がございます。お時間ございます方、参加の方、よろしくお願い致します。</p> <p>以上です。</p>
部会長	<p>ほかに、何かございませんか。</p> <p>ないようでしたら、これで第4回在宅医療介護推進部会を閉会いたします。長時間に亘り、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">—了—</p>